

鬼退散して、
福来たるー



1月28日(日)に、箕岳山麓
峯寺において、宮城県重要無
形民族文化財の白山祭が執り
行われました。

昨年12月に「世界農業遺産」
に認定された大崎地域の農業
において、作神として信仰さ
れる箕岳山とそこで行われる
神事として、認定の一翼を担っ
た無形文化財です。

2人のお稚児さんによって
「鬼」と書かれた的に向けて、
12本の矢を放ち、一年間の天
候を占うという御弓神事(や
ぶさめ)。

昨年は、12本中5本が的中
となり、「我慢が必要な一年」
と占われ、農家の皆さんが苦
労した夏から秋にかけての長
雨・冷夏を見事に的中させて
いました。

大いに的中したが、油断大敵
14時頃に、ほら貝の音が境
内に響きわたると、守役に背
負われた2人のお稚児さんが、
各宿坊の僧とともに、華やか
な衣装をまとって、白山堂前
に現れました。

僧の皆さんによって読経な
どの神事が執り行われ、御弓
神事へと移っていきました。
今年のお稚児さんは、のの
だけ幼稚園に通う福田純己く

んと中沢涼太くん。白山堂前
に集まった大勢の観衆を前に
して緊張した面持ちでしたが、
読経中、あくびをし、愛らし
さで会場を和ませるといった
大器の片りんを見せてくれま
した。

注目の御弓神事では、12本
中9本と昨年よりも多い的中
となり、全体的に上作と占わ
れました。

一方で、2月、3月、10月
が外れ、特に、10月は的中の
方に外れたため、台風に注意
が必要とされました。農家の
皆さんにおかれましては、射
抜いたの数が多いが、決して
油断することのないように
とのことでした。

**厳寒の中、訪れる信徒を
温かく迎えるおもてなし**

箕岳山に対する作神信仰の
象徴的な神事のため、毎年多
くの人々が、箕岳山麓峯寺を
訪れます。

御弓神事に先立ち、10時か
らの「御神酒頂戴」では、産
飯小屋の皆さんによって用意
された「オサシグシ」で信徒
の皆さんをお迎えます。

三角に切った焼き豆腐とご
ぼうを竹串にさして生醬油で
味つけた「オサシグシ」は

お神酒との相性もぴったりと
信徒の皆さんに大好評です。

なお、「御神酒頂戴」が行
われている観音堂内も、普段
とは異なり、白山祭に合わせ
た飾り付けが行われています。
中央には、白山妙理大権現の
掛け軸がかけられ、その下に、
豊作を祈願するよう、さまざま
な野菜が神事ならではの形
に束ねられ、供えられており、
見どころの一つとなっています。

また、各宿坊では、代々伝
統として受け継ぎながら、時
代に合わせて工夫を凝らして
きた「精進料理」でもてな
しをします。「精進料理」は、
それぞれの宿坊のご婦人を中
心として、娘さんやお嫁さん、
親族といった一族がかかわり、
守り伝えられているもので、
動物性の調味料・食材は一切
使用していないにもかかわらず、
味わい深く仕上げられて
います。

【写真解説】

①緊張のせいか思わず飛び出
た愛らしさ②射られた矢は見
事に的中③独特の形をしたオ
サシグシ④普段とは違った神
秘が観音堂を包み込む⑤一堂
に会してみたい宿坊ごとに違
う精進料理⑥若い世代が趣向
を凝らしておもてなしの心を
精進料理の敷紙に



2018年の豊作を射抜く

笠岳白山祭

宮城県重要無形民俗文化財



転出される際の届出をお忘れなく

春は就職や転勤、進学などでお住まいを異動する人が多い季節です。

転出する際に必要な手続きをお知らせします。各種届出をお忘れなく。

転出届（涌谷町での手続き）	転入届（新しい住所地での手続き）
新しい住所が決まり次第、転出届出をしてください。転出証明書を発行します。 【必要なもの】 ①印鑑 ②本人確認書類（運転免許証、保険証など）	新しい住まいに住み始めた日から、14日以内に新しい住所地の市区町村窓口で転入届出をしてください。

転出届出をされるほかに、下記の手続きが必要です。該当する手続きは、お忘れなく。

項 目	涌 谷 町 で の 手 続 き
印 鑑 登 録	転出予定日に廃止されます。印鑑登録証（カード）をお返しくください。
個人番号カード・通知カード	手続きはありません。 <u>新しい住所地で手続きがあります。</u>
住民基本台帳カード	手続きはありません。 <u>新しい住所地で手続きがあります。</u>
国民健康保険	転出日に資格はなくなります。保険証・高齢受給者証などはお返しくください。保険料の過不足は後日連絡します。
国民年金	手続きはありません。 <u>新しい住所地で手続きがあります。</u>
後期高齢医療	保険証等、お返しくください。県外へ転出の場合は、健康課国保介護班で手続きがあります。負担区分証明書をお受け取りください。
介護保険	保険証等、お返しくください。要介護認定などを受けている人は、健康課国保介護班で手続きがあります。介護保険受給資格証明書を取得してください。
子ども医療	福祉課子育て支援室で、返納届の手続き（印鑑持参。シャチハタ不可）があります。新住所地で手続きが必要ですので、税務課税務班で所得証明書を取得してください。
母子父子家庭医療	福祉課子育て支援室で、返納届の手続き（印鑑持参。シャチハタ不可）があります。新住所地で手続きが必要ですので、税務課税務班で所得証明書を取得してください。
心身障害者医療	福祉課福祉班で、返納届の手続き（印鑑持参。シャチハタ不可）があります。新住所地で手続きが必要ですので、税務課税務班で所得証明書を取得してください。
児童手当	福祉課子育て支援室で、消滅届の手続き（印鑑持参。シャチハタ不可）があります。新住所地で手続きが必要ですので、税務課税務班で所得証明書を取得してください。
義務教育の児童・生徒	現在通われている学校から、在学証明書と教科用図書給与証明書をお受け取りください。新しい住所地の教育委員会で手続きがあります。また、引き続き、区域外で就学を希望する場合は、当教育委員会で手続きがあります。
125cc以下のバイク 小型特殊	税務課税務班で廃車手続きをしてください。ナンバープレート、標識交付証明書、印鑑を持参してください。
水道	上下水道課上水道班で閉栓の手続きがあります。

【転出届出に関する問い合わせ先】町民生活課総合窓口班 ☎43-2113

浦谷町から転出される皆さまへ

年金の手続きもお忘れなく

年金加入者は、職業などで3つの種別に分かれています。種別が変わるときは届出が必要になります。

種別	こんなとき	届出先
第1号被保険者 (自営業者、学生、フリーターなど)	就職して、厚生年金や共済組合に加入したとき	勤務先
	第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	配偶者の勤務先
第2号被保険者 (会社員や公務員など)	退職したとき	お住まいの市区町村窓口
	退職して第2号被保険者である配偶者の扶養に入ったとき	配偶者の勤務先
第3号被保険者 (第2号被保険者の配偶者に扶養されている人)	収入が増えるなどして扶養から外れたとき	お住まいの市区町村窓口
	扶養している配偶者が65歳になったとき	
	就職して厚生年金や共済組合に加入したとき	勤務先
	扶養している配偶者が会社を変わったとき	配偶者の勤務先

【問い合わせ先】町民生活課町民生活班 ☎43-2113
古川年金事務所 ☎23-1203

広告

—— 全国の処方箋受付けます ——

〈薬の一包化いたします〉

(株)アサヒ薬局

浦谷本店 ☎0229(42)2035 FAX 0229(42)2107
南郷店 ☎0229(58)3993 FAX 0229(58)3992

広告

わくやふれあい農園利用者募集 「野菜づくりを楽しみながら健康維持！」

- 場 所：浦谷町中江南「わくや天平の湯」となり
- 利用料：年間10,000円（農具・堆肥など常備）
- 申し込みなど、詳しくはお問い合わせください
- ▶ふれあい農園運営協議会 代表 安部川好三
☎090-1370-9062

広告

お願い！賃金改定のお知らせ

宮城県の最低賃金の改定および諸般の事情により、浦谷町シルバー人材センターにおいても、一部配分金基準単価の改定をします。ご理解いただきますよう、お願いいたします。

作業内容 草取り・屋内清掃・軽作業
現在 750円

平成30年4月から30円アップ
780円 (他の賃金は今回は改定しません)

お問い合わせ お電話で 公益社団法人 浦谷町シルバー人材センター ☎0229-44-1710
お申し込みは



ご家庭の協力があつての受賞

「ルルブル」チャレンジで表彰

1月29日(月)に、さくらんぼこども園とのだけ幼稚園が、宮城県から「ルルブル(しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブ・健やかに伸びル)」を推進する優良活動団体として、表彰されました。

それぞれの園において、「早寝・早起き・朝ごはん」といった規則正しい生活習慣や園内の畑での野菜の栽培と収穫体験、調理実習による食への意欲醸成など、ご家庭の理解と協力のもとで実践し、受賞することができました。



地産地消の取り組みが認められて

くがね産直の会が宮城県から表彰

2月6日(火)に、仙台市中小企業活性化センターで開催された食材王国みやぎ推進パートナーシップ会議において、わくや天平の湯内にあるわくや産直センター黄金の郷を運営する「くがね産直の会」の皆さんが、日頃の地産地消推進にかかわる取り組みが認められ、平成29年度食材王国みやぎ推進優良活動の団体として、宮城県から表彰されました。

平成12年から地元涌谷町の農産物の直売所として運営が開始され、平成22年からは涌谷町の学校給食センターをはじめとして、さくらんぼこども園や町民医療福祉センターへの地場産の野菜の供給を開始。小学校においては、地元食材の紹介として校内放送が行われたり、こども園においては、感謝の手紙や感謝を伝えるイベントへの招待が行われたりと、食材を中心とした交流が深められています。

また、表彰式終了後、会場内で交流会が行われ、産直センターブースでは、涌谷町の郷土料理「おぼろ汁」を会場に集まった関係者に提供されました。この「おぼろ汁」は、朝くみたてのおぼろ豆腐に、産直の会員さんが栽培した原木しいたけをふんだんに使ったもので、寒さが厳しかったこの日にうれしい味わいとして、ブースのまわりには人だかりができていました。



パラオがご縁となって

西国際法律事務所涌谷支所が開所

戦時中、パラオ共和国の南洋庁に赴任し、戦後涌谷町で余生を過ごされた故堂本貞一氏の御息女の西のり子さんが、2月16日(金)に、涌谷町字長柄町へ東京都にある弁護士法人西国際法律事務所の支所を開所しました。

開所式では、のり子さんの娘で、代表の美友加さんが「Serve to the Society(社会への貢献)の方針の下、私たちがお世話になった涌谷のためにと開設を決めた」と挨拶。仙台弁護士会と連携して常駐し、開所していきます。



犯罪者をわくわくさせるな！

劇団「わくわくポリス」を発足

2月8日(木)に、遠田警察署において、劇団「わくわくポリス」の発足式が行われました。

平成29年に宮城県内で発生した還付金詐欺や振り込み詐欺などの特殊詐欺事件によって、342件・4億5100万円(宮城県警察ホームページより)もの被害が出ています。

また、高齢者が関係する交通事故も増加傾向にあることから、そのような現状を受け、遠田警察署と涌谷町役場がタッグを組み、振り込み詐欺の抑止や交通事故防止を目的とした寸劇を地域で披露し、防犯と交通安全の意識高揚を目的とした「劇団 わくわくポリス」が結成されました。

分かり易く、かつ笑いがあるストーリーとすることで、見た人の記憶に残る防犯活動を展開してまいります。

宮城県内において、警察署単独での演劇による啓発を行う事例は他にもありますが、行政と協力しての取り組みは、県内初。

発足式が行われたこの日、「還付金詐欺に遭ってしまったお年寄りと被害に遭わないようにするための注意点」をテーマにした寸劇が披露されました。

今後も、事件・事故・事務の合間をぬってシナリオ作りや練習を行い、地域の要望に合わせて出向き、町内で発生する特殊詐欺や交通事故の撲滅を推進してまいります。



涌谷町の伝統芸能が一堂に！

福よこいこい涌谷こい！芸能祭を開催

1月28日(日)に、涌谷公民館を会場に、涌谷町のよさこい団体「祭・WAKUYOSA舞桜」の皆さんが企画した伝統芸能の祭典「福よこいこい涌谷こい！芸能祭」が開催されました。

このイベントは、「祭・WAKUYOSA舞桜」の皆さんが中心となって企画し、涌谷町の伝統芸能「お茶屋節踊り」「涌谷太鼓」「古式獅子舞」「秋の山唄」「笈岳白山豊年踊り」といった各団体に呼びかけ、実現したものです。単に、それぞれの団体の日頃の成果を披露するだけではなく、「涌谷町かがやく協働まちづくり補助金」を活用し、各伝統芸能とよさこいを融合させ、メロディーや節をアレンジして組み込んだ涌谷総踊り「奥州涌谷 黄金花咲く」を制作し、各団体が一致団結して初披露されました。

会場には200人を超える観客が来場。所狭しと披露される演舞に、会場は大いに盛り上がりました。

また、取り組みに賛同された涌谷町の生産者や企業の皆さんから提供いただいた野菜などの抽選会や一足早い節分の豆まき・餅まき、出演者と観客が一体となって踊るよさこい総踊り曲「うらじゃ音頭」によって、会場が笑顔と福で包み込まれました。涌谷町の伝統芸能の新たな形として、継続的な開催が望まれます。



認知症への理解を深めるために

郵便局で認知症サポーター養成講座

2月13日(火)14日(水)の2日間、涌谷郵便局において、涌谷郵便局の局員の皆さんをはじめとして、小里郵便局や小牛田郵便局、田尻郵便局など、近隣の郵便局員総勢23人を対象に、認知症サポーター養成講座を開講しました。

認知症サポーター養成講座とは、地域の一人ひとりが認知症サポーターとなり、認知症を正しく理解し、認知症の人や介護する家族の皆さんを見守りながら、安心して暮らせる町を作り上げていくことを目指す活動です。

講座でははじめに、涌谷町が行っている認知症にかかわる取り組みや町の認知症の現状などについて紹介。具体的には、老化による物忘れと認知症の違いや認知症の方への接し方・対応方法など、参加者全員で考えながら学ぶという形式で進行了ました。

また、涌谷町役場福祉課の職員による寸劇「愛の劇場」も公演し、認知症の方とのコミュニケーションの方法など、分かり易く表現し、理解を深めていただきました。

参加した局員の皆さんには、認知症サポーターとしての証となる「オレンジリング」が配られ、その場で早速身に付けていただきました。

涌谷町では、今後も「認知症になっても安心して暮らせる町」を目指して、一層啓発活動に努めてまいります。



郷土の味を学校給食で

学校給食で金のいぶきとおぼろ汁

全国一斉で、1月24日(水)から30日(火)までの期間、学校給食週間と定められており、地場産の食材をふんだんに使用したり、正しい食に対する知識と望ましい食習慣を身につけることを目的に、涌谷町においても、特別なメニューが提供されました。

1月26日(金)には、涌谷町の現代の金として昨年販売が開始された高機能性玄米食専用米「金のいぶき」のカレーライスが提供されました。前回の提供は100%玄米であったことから抵抗を感じる児童生徒もいたということで、白米とのブレンドにしつつ、奈良日航ホテルの料理長がおすすめするカレーライスでの提供となりました。

なお、ルーは、4種類をブレンドしており、小学校低学年から中学生までおいしく食べられるよう、工夫されています。副菜には涌谷町特産の「水菜のサラダ」を提供。

1月30日(火)には、涌谷町の郷土料理の「おぼろ汁」が提供されました。干し椎茸のだしをふんだんに使用し、とろみのある家庭の味に近く、身体の芯まで冷えてしまうこの時期にぴったりの給食メニューとなりました。

地場産の新鮮な野菜やおいしいお米、伝統の郷土の味をしっかりと味わっていただくことで、正しい味覚と食習慣を身につけてください。



惜しまれつつ今回でファイナル

わくや発 食の町民まつりを開催

2月3日(土)に、わくや天平の湯・世代館を会場に、涌谷町産の農産物や加工品などの特産品について理解を深め、地産地消を推進することを目的としたイベント「わくや発 食の町民まつり」が開催されました。

A5ランク和牛の焼肉や涌谷高校・小牛田農林高校・南郷高校の皆さんによるスイーツ、特産のほうれん草や水菜を使った料理、おいしくて健康にも良い減塩メニュー、金のいぶきのカレーなど、地場産の食の魅力を堪能しました。



春から安全に通学できますように

こじかクラブ交通安全教室を修了

涌谷町内の幼稚園・こども園などに通う幼児を対象に、交通ルールを身につけることを目的とした「こじかクラブ交通安全教室」の今年度最後の教室が開かれました。

この春に入学する年長園児の皆さんは、それぞれ通う小学校周辺の路上において、これまで学んできた交通ルールの集大成として歩行訓練を行いました。自らしっかりと判断して安全に横断歩道を渡ることができ、同行した警察官からも合格点を頂くことができました。



障害者地域生活支援の新たな拠点

共生の森「結の郷わくや」が竣工

社会福祉法人共生の森が、旧城山保育所跡地に建設を進めていた障害者地域生活支援拠点施設「結の郷わくや」(愛称)がこの度竣工しました。

この施設は、障害者が地域で自立して暮らせるよう支援するための拠点です。生活介護事業やショートステイ、支援学校に通う子どもの日中一時支援、基幹相談支援センターを行います。また、3月27日(火)9時~12時・28日(水)14時~17時に内覧会を予定しています。



納税の意義を学ぶ

涌谷第一小学校で出張納税講座

1月15日(月)に、涌谷第一小学校の6年生を対象として、涌谷町役場税務課の職員が出向き、納税の意義や納められた税金がどのように使われているかなどについて学ぶ出張納税講座が行われました。

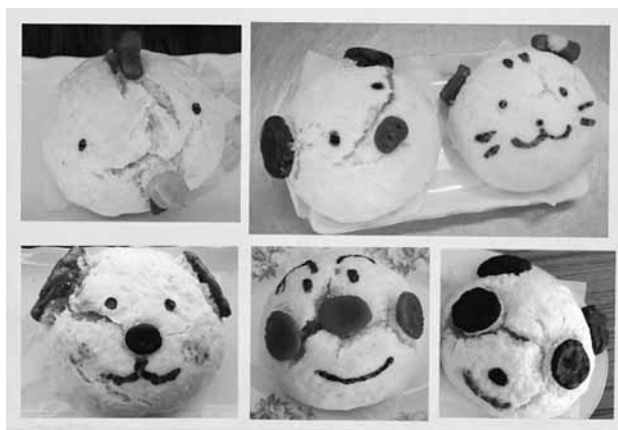
札束の模型を使った1億円の重さ体験もあり、楽しみながら、納税の仕組みについて学ぶことができました。参加児童からは「税について色々分かり楽しかった」という感想もあり、記憶に残る講座となったようです。



アニマル肉まんを作ろう!

1月31日(水)『アニマル肉まんを作ろう』を開催しました。講師は美里町のすい一つ畑・ふしみの勝又千枝さんです。生地づくりに豆腐を使うヘルシー肉まんパーツには、かぼちゃフレーク、ブラックココア、トマトパウダーで色付け。童心にかえりワクワク楽しみました。

かわいく作ったアニマル肉まんを蒸し器に入れ20分…蒸す間に甘酒ドリンクの作り方も教えていただいたので、あっという間。ドキドキしながら、フタをあけたら可愛い肉まんの完成でした。ホカホカのできたての肉まんも甘酒ドリンクも、おいしかったです。



こちら-町長コラム- 町長室です

車社会のこれからを考える

「ブレーキとアクセルを踏み間違えた」。高齢者の事故でよく聞く言葉です。涌谷町では死亡事故にこそ至っていませんが、「危なかった」と思われた方は少なからずいらっしゃるのでは。全国統計では平成16年に75歳以上の高齢ドライバーが起こした死亡事故は459件で死亡事故全体の13.5%で、壁などへの衝突が最も多く、75歳未満の1.5倍。その他に、車との正面衝突、出会い頭の衝突、横断中の歩行者をはねるなどと続きます。事故原因ではハンドル操作ミス、ブレーキとアクセルの踏み間違いが顕著だそうです。少子高齢化が急速に進展する今、早急な対応が求められています。

去る1月9日、1125日続いた死亡事故0の日が残念ながら途絶えてしまいました。

このような状況の中、今年の5月24日(木)に東経連ビジネスセンターと涌谷町主催で「東北地域の車を考えるin涌谷」を開催します。この事業は「トヨタ自動車東日本・東北経済産業局」により「将来、自動車に应用可能性のある技術」の紹介を通じて東北の企業・研究者のニーズと自動車メーカーのマッチングを図り「東北地域の車を考える会」を涌谷町で開催し、新規事業の創出を目指し、交流、連携を通じて涌谷町の企業振興と技術情報の共有を図ろうとするもので、大変意義のあるセミナーであると断言できます。ぜひご参加ください。

涌谷町長 大橋信夫

【町長日程(平成30年1月15日~2年14日)】

日程	行事名	場所
18	東北農政局と市町村との意見交換会	大崎市図書館
19	涌谷中学校立志式	涌谷中学校
21	涌谷町消防団出初式	勤労福祉センター他
23	東大寺訪問	奈良県
24	B&G全国サミット	東京都
27	世界農業遺産認定記念報告会	大崎合同庁舎
28	祭WAKUYOSA舞桜presents福よこいこい涌谷こい	涌谷公民館
31	石巻・酒田間地域高規格道路整備促進に関する地元選出国会議員との懇談会	参議院議員会館
3	第10回わくや発 食の町民まつり	天平の湯
5	日本郷土民謡協会創立記念祝賀新年会各章授与祝賀会	東京都
6	企業訪問	東京都
7	石巻別街道オープニングセレモニー	仙台市
12	涌谷の武家屋敷の実測調査と保存活用の方策づくりシンポジウム	涌谷公民館
13-14	東北鞍馬競技大会馬主表敬訪問	岩手県

しろやま さん 城山の金さん徒然日記

フォトジェニックを極める!

前回の徒然日記において、産直センターの皆さんがフェイスブックページを開設したことを紹介したが、より充実した運営のために、大切な要素「フォトジェニック」を極めることを目的に、地域おこし協力隊の丹治隊員がスマートフォンで誰でもきれいに食材を撮影できる技術を身につけるためのセミナーを開催したんじゃ。

美里町にお住まいのプロの写真家の方を講師に迎え、生産者の皆さんが各自が栽培する野菜など、いかに美味しく撮影するかを、座学と実践で展開していった。

時代は、「フォトジェニック」!参加者の皆さんは、前のめりになりながら、しっかりと学んでおられた。



(写真)おいしく魅せられる角度を見つけ出すのが極意